

令和 7 年度授業改善推進プラン 教科名 英語科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	・「話すこと」に関しては、意欲的に会話をする事ができているが、正確に話すことが課題である。 ・「書くこと」に関しても、書くこうとする意欲はあるが、正確性に課題がある。	○授業内での言語活動を充実させて、既習の文法事項を使う活動を計画的に行うことで、定着を図る。 ○ペアワーク・グループワークから生徒同士で学び合える学習環境を作る。 ○自己表現において文法を考慮して自由に書けるように、タブレットを活用して、個別に助言しながら表現する機会を増やす。 ・パフォーマンステストを定期的に行うことで、生徒が抵抗なく発表や対話ができるように工夫する。
2 年	・「読むこと」に関しては、基本的な語句が定着していないため、まとまった量の文章が読めない生徒が見られる。 ・表現活動に関しては、意欲はあるが、基本的な語句や文法が身につけていないため、うまく表現できない生徒が多い。	・ペアワークで生徒同士での学び合いを通して、基礎的な読む力、表現力を身に付けさせる。 ○各授業で、平易な英文で自己表現ができる英作文問題に取り組ませる機会を作り、添削をしていくことで、正確に書く力を高めていきたい。 ○1年次に学習した単語や英文を復習する時間を時間を設定し、繰り返すことで、基本的な語句や文法を身に付けさせる。
3 年	・「聞くこと」に関しては、要点を押さえて聞くことができる生徒が多い。 ・表現活動に関しては、意欲はあるが、基本的な語句や文法が身につけていないため、調べながら表現する生徒が多い。 ・「読むこと」に関しては、基本的な語句が定着していないため、まとまった量の文章が読めない生徒が見られる。	・グループワークを通して、生徒同士で学び合い、間違いを訂正する力を身に付けさせる。 ・高校入試も視野に入れ、話す活動と書く活動、聞く活動を連動させて、トピックを決めて話したり書いたりさせる。 ○授業内で、授業プリントなどを活用しながら、学習した事項を用いて書く機会を多く設ける。 ○授業内で、過去に学習した基本的な単語や文法をふりかえる時間を確保し、すべての活動の基本となる単語力を養う。

*すぐに取り組めることの前に○をつける